

科目名	臨床血液学 (Clinical Hematology)			科目コード	412
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次後期	関連DP	臨②③④
担当教員	山岡 源治、山之内 純*				
授業概要	臨床検査技師としての実務経験を有する教員が、血液疾患の臨床的特徴とその診断、治療、経過と予後について解説し、血液疾患における血球計数、形態、血栓止血、遺伝子検査の結果の評価について解説する。(オムニバス方式) (山岡准教授) 授業内容に記載した血液疾患の臨床的特徴とその検査データの特徴を解説する。 (未定) 血液疾患の診断と最新の治療について臨床医の立場から教授する。				
授業目標	1 血液疾患における赤血球系・白血球系・血小板系細胞の形態学的特徴および変化を説明できる。 2 貧血の分類とその疾患の特徴を理解し、病態について説明できる。 3 白血病など造血器腫瘍の診断に用いられているFAB分類、WHO分類の概略を説明できる。 4 凝固・線溶系検査の基礎を理解し、疾患のデータを読むことができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	赤血球系疾患	赤血球系の基準範囲、赤血球形態の異常	山岡源治
2		小球性低色素性貧血 (鉄欠乏性貧血、慢性炎症性疾患、鉄芽球性貧血)	
3		正球性正色素性貧血：造血幹細胞・前駆細胞の異常 (再生不良性貧血、赤芽球癆、骨髄置換性病変による貧血)	
4		正球性正色素性貧血：赤血球の破壊亢進による貧血 (遺伝性球状赤血球症、橢円赤血球症、先天性酵素異常症等)	
5		正球性正色素性貧血：赤血球の破壊亢進による貧血 (異常ヘモグロビン症、PNH、自己免疫性溶血性貧血、サラセミア、赤血球破碎症候群)	
6		大球性正色素性貧血 (巨赤芽球性貧血-ビタミン B12 欠乏、葉酸欠乏-)、多血症	
7	白血球系疾患	白血球の基準値、白血球の形態異常、白血球機能異常症	
8		白血球増加症、白血球減少症、リンパ球の異常	
9	造血臓器の疾患 M蛋白血症	骨髄増殖性疾患 (慢性白血病、特殊な白血病)	
10		白血病 (急性白血病と FAB 分類、WHO 分類)	
11		骨髄異形成症候群 (FAB 分類、WHO 分類) 多発性骨髄腫、原発性マクログロブリン血症	
12	出血性素因 血栓性素因	血小板の異常による出血性素因	
13		凝固・線溶因子の異常、血管の異常 血栓性素因	
14~15	血液内科の診療	血液内科最新の治療 (臨床現場での最新の治療法など)	
成績評価方法	定期試験 (配分：70%) と小テスト (配分：30%、山岡担当分 26%、羽藤担当分 4%) にて評価する。		
教科書	奈良信雄・小山高俊 著「最新臨床検査学講座 血液検査学」(医歯薬出版)		
参考図書等	JAMT 技術教本シリーズ「血液検査 技術教本」(丸善出版) 矢富裕、増田亜希子、常名政弘 編「血液形態アトラス」(医学書院) 医療情報科学研究所「病気がみえる vol.5 血液 第2版」(メディックメディア)		
授業時間外の学習について	毎回授業開始時に小テストを実施するので、前回講義分に関して復習しておくこと。		
関連科目	基礎科目：142 人体の構造と機能Ⅱ、402 生化学、411 血液学、430 免疫学、407 病理学 共通・発展科目：413 臨床血液学実習、422 遺伝子検査学、423 遺伝子検査学実習		
備考	教科書に関連した資料を配付する。		